

# 平成 26 年 4 月 27 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

司 会 : 平松章治兄  
奏 楽 : 小島明美姉 & 池田愛姉  
おいのり : 持田樹理姉  
さんび : 新聖歌 325 「歌いつつ歩まん」 1. 2. 4 節  
ヤベツの祈り  
聖 書 : マルコによる福音書 16 章 1 ~ 8 節 (P.81)  
(朗読: 大神久美姉)  
音 楽 : 倉知 契牧師  
メッセージ : 「復活の余韻に浸って」 倉知 契牧師  
さんびと 献金 : 聖歌 656 「感謝します」  
頌 栄 : ハレルヤ(Bb)  
祝 禱  
報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎いたします！昼食も一緒にどうぞ。
- ◇ 5/11(日)は音楽ミサ&対談の新しいオープン礼拝
- ◇ 5/25(日)は春のバザー。出店、献品など募集開始！
- ◇ 受洗希望の方は、牧師まで。ともにお祈りして準備します。
- ◇ 今日午後、お借りしている駐車場を清掃します。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース ルカ17章-20章  
Bコース サムエル記上30章~サムエル記下16章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年5月4日]  
[司会: 赤塚敏郎兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 平松友子姉]  
[ピアノ: 片岡立子姉、 賛美リード: 大神 雄兄  
アシスト: 大神美乃姉、武藤詩奈姉]  
[献金: 大神久美姉、受付: 赤塚孝子姉]  
◇PA: 平松章治兄                      ◇週報編集: 片岡洋一兄  
◇ホームページ編集: 大神真伸兄      ◇日曜学校: 大神 雄兄



消えてしまいたい過去、それも自分の成長につながっている  
結果を最大限に引き出すには他者と闘うのではなく、自分自身と闘うのだ  
どんな苦悩にも必ずポジティブな意味が見つかる

精神科医であり、強制収容所の苦しみを経験したビクター・フランクルの  
これらの言葉には力があります。大和教会のM兄が、フランクルのことばの  
数々を集めた一冊の本を紹介してくださいました（「つらいときに力をくれ  
る100の言葉」絶版中）。そのまえがきにこうあります。「フランクルの  
言葉を心に刻んだからといって、状況が好転するわけではない。ガンが消  
えるわけではないし、死んだ家族が生き返るわけでもない。それなのになぜ生  
きる勇気が湧いてくるのか。それは悩み苦しむことに意味が感じられるよ  
うになるからだ。置かれた状況が変わらなくても、こちらの視点が変わること  
で、見逃していたいろんなことが見えてくる。」

先週のイースター・メッセージは『目を上げると不可能が可能になる。』  
視点を変えただけで、転がされた墓石と復活の主に出逢うことができるので  
す。

苦難と死こそが人生を意味あるものにする

このフランクルのことばに答えるように、M兄がこんな証を書いてくださ  
いました。「父の死は自分が25歳の時。特別深い意味を考えることなく過  
ぎてしまった。家族も健在で自分もすでに大企業に就職し婚約者もいたの  
で、それほど痛手にならなかった。しかし、結婚後初めての子が知的障害を  
もって生まれたことが大きな苦難となり、いろいろ意味を考えさせられてき  
た。後年になり、妻の死。これは大きな衝撃、半身の死！そして、自分も間  
もなく後期高齢者の年齢となり、死が他人ごとではなくなって来ている。ま  
た日々死を意識せざるを得ない、神様から預けられた「天国の特別な子」＝  
知的にも身体にも弱さを持つ我が子との密接な関わり…（後略）」 語られ  
たことばに對峙し、苦難とか死の向こうに主を透視するM兄にとって復活の  
喜びはひとしおでしょう。私たちもイースターの余韻を楽しみながら、意味  
のある毎日を過ごしてまいりましょう。

瀬戸カルバリーチャペル      倉知 契

神は私たちの主イエス・キリストのゆえに、私たちに  
次々に勝利を与えておられるのですから。

(一コリント十五の五十七白畑訳)